生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	肝胆膵悪性腫瘍における腸内細菌と腫瘍微小環境の相互作用および予後の検討		
1. 研究の目的と方法	肝胆膵悪性腫瘍の発生・進展には腸内細菌が関係していることが明らかになってきています。本研究では肝胆膵悪性腫瘍で切除を行った患者さんを対象とし、腫瘍微小環境において腸内細菌が腫瘍免疫や治療抵抗性と関わる因子に与える影響を検討することです。腫瘍組織、腫瘍周囲正常組織から抽出した DNA を用いて、細菌叢解析を行い、腫瘍内細菌叢の組成と各細菌の定量化をして、細菌叢と腫瘍免疫および治療抵抗性に関わるシグナル、予後との関係を調べます。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	20 歳以上で肝胆膵悪性腫瘍（肝細胞癌、肝内胆管癌、転移性肝癌、その他の肝腫瘍、胆管癌、膵臓癌、その他の膵腫瘍）の患者さんで、附属病院で 2019 年 3 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日の間に切除を施行し、バイオバンクに組織が保管されている方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	手術時に採取された腫瘍組織、腫瘍周囲正常組織	
	(2)試料の取得の方法	がんに対する診断・治療・予防法の開発：慈恵医大腫瘍センターバイオバンクプロジェクトで同意を頂き保管されている試料の二次利用をします。	
	(3)情報の種類	診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、診療録、手術録、術後合併症、免疫組織学的評価、分子生物学的解析、細菌叢解析、再発・予後。	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　外科学講座
		氏名	春木孝一郎
	(2)試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(3)共同で研究を実施する機関とその責任者	理化学研究所　生命医科学研究センター　副チームリーダー 須田　亙（機関の長：山本一彦）	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された試料・情報は患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、以下の機関（あるいは会社）に以下の方法で送られ、詳しく解析されます。 提供先の機関：理化学研究所　生命医科学研究センター 提供方法：試料は追跡可能な方法で郵送、情報はパスワードを掛けた電子ファイルをメール送付
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　外科学講座 研究責任者：助教　春木　孝一郎（はるき　こういちろう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3401） 対応時間：平日 09：00　～　16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。